

2020年6月11日
南海電気鉄道株式会社

6月20日、国連が定める「世界難民の日」に 南海ビルを国連ブルーにライトアップ

～難民問題への関心と社会全体で解決に取り組む機運を高めます～

南海電鉄（社長：遠北光彦）では、国連が定める「世界難民の日」である2020年6月20日（土）に、国の登録有形文化財として登録されている「南海ビル（大阪市中央区難波五丁目1番60号）」の北側壁面を、国連ブルーにライトアップします。

当社では、事業活動を通じて社会的な課題の解決に取り組むことで、持続可能な開発目標（SDGs）の達成を目指しており、本ライトアップはその一環で実施するものです。

国連が定める「世界難民の日」には、難民問題への関心を高めるため、毎年世界各地で様々な取組みが実施されています。当社の創業の地であるなんばにおいて、歴史ある南海ビルを国連ブルーにライトアップすることで、難民問題への関心と社会全体で解決に取り組む機運を高めます。

詳細は以下のとおりです。



ライトアップのイメージ

実施日 2020年6月20日（土）

※本ライトアップ実施に伴い、同日、5月16日（土）から実施している「大阪モデル」に基づく警戒基準の到達レベルにあわせたライトアップは実施しません。

点灯時間 18時30分～24時00分

実施内容 「世界難民の日」にあわせて、南海ビルの北側壁面を、国連ブルーにライトアップします。

<参考>南海ビル年譜

昭和 7年（1932年）7月 完成
平成21年（2009年）9月 伝統と先進をコンセプトとした美装改修工事が完成
平成23年（2011年）1月 国の登録有形文化財として登録

以上

南海グループでは、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGsの目標アイコン」を明示しています。

今回ご案内の取組みは、1番・10番・11番・17番に繋がるものです。

